



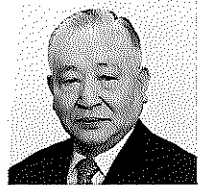
# 白門板橋

2013. 9. 15 VOL.40

編集  
発行

中央大学学員会 東京板橋区支部

〒173-0035 東京都板橋区大谷口1-39-2 TEL03-3956-9054



■ 巻頭言

## 住み慣れた板橋を離れて

支部長 石塚 輝雄

学員会東京板橋区支部の皆様には、猛暑の毎日が続いておりませんが、お元気で過ごしのことと存じます。平素は支部運営に何かとご理解ご支援をいただき、心からのお礼を申し上げます。

私は、平成3年板橋区長に就任以来、早朝の行事も多いので、府中市の自宅から板橋区のマンションに単身赴任し、22年近くを板橋区で過ごしましたが、この度、8月10日(土)事情により、自宅に帰ることにいたしました。住み慣れた板橋、そして多くのご支援をいただいた支部の方々をはじめ区民の皆様には、板橋の地を離れることになり申し訳ない気持ちで一杯です。前日の8月9日の夜、いざ転出することになると、あれこれと考えが浮かんできて、一睡もできず朝を迎えてしまいました。

区長在任期間中は言葉で表現できない程、多くの方のお世話になりました。在職中「感謝の気持ち」「責任」「健康」の三点については、区の行政を遂行するうえで、最も大切にすべきものとして、常に忘れることなく取り組んでまいりました。特に区長引退表明した直後、区民の皆様から、引退を惜しむ声が寄せられました。今度板橋の地から離れることの難しさを実感しています。ある人はズット板橋の地に任んでいなさいと声をかけて下さいました。今は本当に申し訳なく、離れることになりました。

今後とも支部の方々をはじめ区民の皆様には、一層のご交誼としてご指導をお願いいたします。支部の皆様には、限りないご支持を頂き感謝をして転居のご挨拶いたします。

# 支部のニュース

## ■第25回定時総会並びに支部創立25周年記念式典と祝賀会の開催

平成25年6月22日(土)、午後4時、東武バンケットホールに60名の会員と14名の来賓が出席して、定刻に支部総会を開催、5議案が原案どおり承認可決されました。



▲議長の石塚支部長

総会終了後、母校の前総長・学長の永井和之法学部教授の「物語と法」の演題で記念講演。続いて春風亭朝也さんの落語に耳を傾けました。

その後、記念式典に移り、石塚輝雄支部長の挨拶に続き、来賓の大木田守学員会副会長と坂本健板

橋区長の祝辞の後、牧吉雄元副支部長に感謝状の贈呈があり、中央大学の応援団の演技の後、出席者全員による記念撮影を終えて祝賀会に移りました。

学員会本部顧問の長田繁氏の乾杯の音頭で懇親会に移り、和やかに進行し、最後は恒例の校歌、惜別の歌を中三川常任幹事のリードで斉唱し中締めとなりました。

## ■創立25周年記念式典において牧吉雄氏に感謝状贈呈

6月22日の定時総会後の、創立25周年記念式典において、牧吉雄氏に感謝状が贈呈されました。牧氏は、昭和63年の支部設立準備の段階から、支部の総務や渉外の仕事をされ、平成2年からは6年間(3期)にわたり、副支部長を重任され、また趣味のカメラの腕を生かして多くの集合写真などを撮られました。

感謝状贈呈式の日、牧氏は所用があり、ブロック長の深山宏副支部長が牧氏の代理として賞状と記念品を受領されました。

(池田亘利)

## TOPICS

### ■観桜会スケッチ

お花見の幹事にとって、春の気候は油断がなりません。

今春は温暖で、早くから花が咲いてしまいましたので、観桜会の4月6日(土)は、石神井川の桜は葉桜になってしまいました。

更に当日は大嵐が接近中で、お花見幹事の深山宏常盤台ブロック長は気が気でなかったことでしょう。集合は、正午に東上線ときわ台駅北ロータリー。

駅近くの天祖神社の境内にある桜は八重桜ですが、まだ咲いているとのこと。まずそこへ行って記念撮影をすることにし、満開の桜を背景にパチリ、それが表紙の写真です。

そこから三々五々連立って石神井川河畔を宴会場に向かいました。石神井川の桜並木は、板橋十景のひとつですが、すでに葉桜になっていて、若葉の間に花がちらほら残っているという状況でした。

それでも、それなりに観桜会の気分が近づくことができました。小雨

まで降りだして、午後1時には懇親会場の中華料理店(和唐)に着いてしまいました。

予定より5人ほど減って、25人参加。碓谷幸照氏の司会で、まずこの地区にお住まいの巨勢典子さんが「わが常盤台によるこそお越し下さいました」と挨拶。

続いて石塚支部長が挨拶「創立25周年記念行事をなんと少しでも成功させたいものです」。



▲乾杯の音頭 牧吉雄氏

牧吉雄氏のビールによる乾杯の音頭。続いて(和唐)マスターによる紹興酒10年ものの壺割の妙技。

この紹興酒が実にうまい。チャイナ・ドレスの女性が給仕する広東料理もすこぶる美味で、葉桜の憂さほどこえやら、とても楽しい観桜会でした。

(伊藤 潤)

## 母校のニュース

### ■参院選に学員6名が当選

去る7月21日(日)に実施された参議院議員選挙は、下馬評どおり自民党の圧勝に終わったが、中大関係では内閣府特命担当大臣をつとめる山本一太氏を含め、自民党5名、公明党1名の計6名が当選した。



▲国会議事堂  
(写真:伊藤)

なお、テレビコメンテーターとして活躍する元検事の若狭 勝氏は次点に終わり、初当選はならなかった。

### ■都議選には

7名の学員が当選

参院選に先立って、去る6月23日に行われた東京都議会議員選挙

は、参院選の前哨戦として大きな注目を集めたが、前年の衆院選で大勝した自民党の余勢を駆る勝利で終わり、都議会の勢力図も大きく変わっている。

この都議選で、白門出身議員は次のとおりとなった。

- 自民党 (3名)
- 公明党 (1名)
- 民主党 (2名)
- 共産党 (1名)



▲都議会議事堂  
(写真:伊藤)

### ■総長代行に

遠山常任理事が就任

学校法人中央大学は、2013年6月3日の理事会において、総長兼学長の福原紀彦氏からの総長辞任の申し出を受けて、それを了承し、学長は福原氏がそのまま留任した。

総長職は、新たに遠山 暁常任

理事が代行することになり、トップ人事が終了した。

学長は中央大学の責任者であり、総長は学校法人中央大学が運営する中学校・高校・大学の全体を統括する立場となる。

### ■飯塚翔太君、世界陸上へ

日本陸上界期待のホープ飯塚翔太君(法4)は、5月に行われた静岡国際で、日本歴代3位となる200メートル20秒21を記録し、その後の日本選手権でも好記録で優勝、8月にモスクワで行われた世界陸上に日本代表として出場し、200メートル準決勝で惜しくも7位となり、決勝進出はならなかった。なお400メートルリレーではアンカーを務め、6位入賞を果たした。



▲飯塚翔太選手  
(写真:平山)

### ■箱根駅伝は苦戦予想

前回の箱根駅伝は、中大史上初の途中棄権という結果に終わったため、今年は屈辱の予選会からのスタートになるが、その後の選手たちの調子は上がらず、6月の全日本大学駅伝予選会では出場20大学中15位と惨敗を喫し、厳しい状況に追い込まれている。

来年の箱根駅伝は、90回の記念大会のため出場枠が増えるが、上位での予選会通過を期待したい。

### ■野球部春季リーグは4位

期待された春季リーグは、専大と青学に連勝したものの、他の3大学にストレート負けを喫して残念ながら4位に終わった。

秋季リーグも厳しい状況に変わりないが、鳥袋投手と春季リーグで活躍した1年生の新城君(沖縄興南高)、松田君(国学院久我山高)に期待し、亜大・駒大に雪辱を果たしてもらいたい。

(栗原三郎)

### 定時総会の議決報告

開催日／平成25年6月22日  
会場／東武バンケットホール

第25回・定時総会が実施されましたので、次のとおり報告いたします。

#### ■第一号議案

平成24年度事業報告の件

(自・平成24年4月1日  
至・平成25年3月31日)

大野事務局長から報告があり、異議なく承認されました。

- ・4月7日(土) 観桜会 茂呂山公園(大山・大谷口) 34人
- ・4月7日(土) 囲碁同好会 毎月第4土曜開催 延120人
- ・4月12日(土) ゴルフ同好会 4月と10月の年2回延46人
- ・4月19日(木) パソコン同好会 アイタワー 年7回延80人
- ・5月11日(金) カラオケ同好会 4月と10月の年2回延36人
- ・5月18日(金) 幹事会 グリーンホール 25人

・6月16日(土) 定時総会

板橋区立文化会館 60人

・7月12日(木) 都区内支部連絡会

議駿河台記念館 3人

・7月24日(火) 会報編集会議

巢鴨ルノアール 7人

・9月14日(金) 会報発送業務

文化シャッター研修所 10人

・9月27日(木) 板橋区民まつり

打合せ九十九人会議室 12人

・10月5日(金) 創立25周年記念事業打合せサニイチ

22人

・10月20日(土) 21日(日) 板橋区民まつり参加延

30人

・10月26日(金) 常任幹事会

レストランサニイチ 22人

・10月28日(日) ホームカミン

グデー参加 中大多摩 25人

・11月3日(土) 4日(日) 旅行奥松島を訪ねて

20人

・12月8日(土) 忘年会

庄や上板橋店(徳丸) 42人

・1月28日(土) 新年会

板橋区立文化会館 48人

・3月14日(木) 会報発送業務

常盤台町会事務所 10人

(以上)

#### ■第二号議案

平成24年度・収支決算報告並びに会計監査報告の件

左表のとおり平成24年度の収

支決算報告が小宮会計幹事からあり、引き続き決算に関する監査報告が関上監事から行われて満場これに異議なく、拍手をもって承認可決されました。

### 平成24年度収支決算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

#### 支出の部

科目	予算額	決算額	摘要
総 会 費	560,000	274,234	59名懇親会・主産・写真
役員 会 費	30,000	13,384	春前打ち合わせ
常在幹事会費	180,000	162,000	8月・30名 10月・23名
幹事 会 費	100,000	58,000	5月・25名
新年 会 費	420,000	257,900	支部主催
観 桜 会 費	140,000	140,000	茂呂山公園 34名
旅 行 会 費	800,000	726,028	東北 20名
忘 年 会 費	240,000	195,000	ブロック担当 上板橋 39名
種 志 勤 補 助	80,000	77,220	抽選会・会報発送事務
同 好 会 補 助	40,000	40,000	ゴルフ・囲碁・カラオケ・パソコン
会 員 増 進 費	100,000	11,100	区民祭り
ブ ロ ッ ク 支 援	210,000	0	ブロック活動補助
春 節 高 級 化 費	50,000	20,000	ホームカミング広告・教品
中央大学新開費	95,000	71,800	中央大学ホームカミング
会 報 作 成 費	400,000	313,215	白門板橋
誌 販 使 用 費	100,000	52,310	総会期報・賛金贈呈書
印 刷 費	40,000	74,190	資料作成
ネ ッ ト 育 習 費	45,000	43,680	サーバー管理費・ソフト手数料
通 信 費	200,000	138,930	会報案内等・郵便料
廣 告 費 交 際 費	100,000	90,120	地支部招待出張・お見舞い
消 耗 品 費	15,000	14,609	贈物品
送 払 手 数 料	20,000	18,820	振込手数料
著 付 金 支 出		100,000	懇親会
預 金 費	5,000	0	
雑 費	1,559,923	0	
		2,892,540	
次 期 繰 越 金		1,571,522	
合 計	5,529,923	4,464,062	

### 平成24年度収支決算書

自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日

#### 収入の部

科目	予算額	決算額	摘要
年 会 費	750,000	483,000	地区・地区・地区 161名・3000
総 会 費	560,000	413,000	総会 7000 59名
協 賛 金	750,000	405,000	25周年記念
役 員 会 費	30,000	23,000	春前打ち合わせ
常 任 幹 事 会 費	180,000	159,000	8月30名 10月23名 各2000
幹 事 会 費	100,000	53,000	8月 25名 10月2000 1名3000
会 員 増 進 費	20,000	0	区民祭り
新 年 会 費	420,000	336,000	支部主催 48名 7000
観 桜 会 費	140,000	136,000	ブロック担当 34名 4000
旅 行 会 費	800,000	689,000	東北 20名
忘 年 会 費	240,000	195,000	ブロック担当 39名 6000
諸 活 動 出 入 収 入	30,000	0	各種活動
寄 附 金 等	50,000	60,128	賛金等・ご挨拶
中 大 補 助	20,000	105,000	中央大学補助金
中 大 訪 問	75,000	42,700	ホームカミング参加者
貸 付 利 息	1,000	311	印刷・銀行預金利息
雑 収 入	0	0	
計	4,166,000	3,100,139	
前 年 度 繰 越 金	1,363,923	1,363,923	
合 計	5,529,923	4,464,062	

**平成24年度 貸借対照表**

平成25年3月31日現在

資産の部			負債・剰余金の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
現金	期束手許有金	39,133	次期繰越金	正味財産	1,571,522
郵便貯金		691,083			
郵便振替		681,480			
三菱東京UFJ		159,824			
交通信用金庫		2			
計		1,571,522	計		1,571,522

上記の通りご報告いたします。

平成25年6月17日

中央大学学員会 東京板橋区支部長 石塚 輝雄

会計担当 小宮 仁

**監査報告書**

幹事3名は板橋区支部の平成24年度会計について監査の結果、決算及び関係書類の会計処理は適正に行われており、決算数値は適正であることを認めます。

平成25年5月17日

中央大学学員会 東京板橋区支部 監事 関上 裕次

同 中野 敏雄

同 栗原 三郎

**■第三号議案**

**平成25年度・事業計画(案)**

(自・平成25年4月1日)  
至・平成26年3月31日)

\* \* \*

大野事務局長から、次のとおり  
事業計画の説明があり、満場異議  
なく、拍手をもって承認可決され  
ました。

一、定時総会及び創立25周年式典

日時 6月22日(土)

会場 東武バンケットホール

二、親睦会の開催

観桜会 4月6日(土)

石神井川桜並木にて開催済み

中華「和唐」(担当 常盤白)

・旅行会 秋に予定

・忘年会 12月開催予定

・新年会 平成26年1月予定

三、都区内支部などとの交流

四、同好会活動の促進

囲碁(毎月第四土曜日に開催)

ゴルフ(4月・10月に開催)

パソコン(4月より毎月開催)

カラオケ(5月・10月に開催)

五、広報活動

会報『白門板橋』発行(年二回)

ホームページの更新

各ブロック活動への支援

平成25年度用会員名簿の作成

六、会員増強活動

区民まつりにて会員募集

各ブロックごとに会員増強

七、ホームカミングデー参加

日時 10月27日(日)

会場 多摩キャンパス

**■第四号議案**

**平成25年度・収支予算(案)**

\* \* \*

小宮会計幹事から、左表のとおり、平成25年度の収支予算(案)とした。

並びに創立25周年事業予算(案)の説明があり、引き続き、石塚議長から場内に諮られ、満場異議なく、拍手をもって承認可決されました。

**創立25周年事業予算案**

平成25年8月22日

収入の部			支出の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
支部会費収入	一般会費より振替	500,000	祝賀会費	7000×85	595,000
協賛金	一般会費より振替	700,000	会場費	看板制作・盛花等	80,000
寄付金			記念品代	1500×150	225,000
祝い金		200,000	来賓手土産	3000×20	60,000
会報作成補助金	増大号	100,000	感謝状袖	15,000×5	75,000
			記念写真		10,000
			通信費		40,000
			事務用品費		5,000
			会報作成費		100,000
			支払手数料		3,000
			祝賀費	講演・	200,000
				アトラクション・覆札	
				支部会費へ	127,000
合 計		1,500,000	合 計		1,500,000

**平成25年度収支予算案**

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

収入の部			支出の部		
科目	摘要	金額	科目	摘要	金額
年会費収入	3,000×250名	750,000	総 会 費	特別会費へ振替	500,000
総会費収入	7,000×80名	560,000	25周年記念	特別会費へ振替	700,000
協賛金収入		295,000	新 年 会	新 年 会	420,000
幹事会費収入	幹事会	420,000	親 睦 会	親 睦 会	150,000
	親睦会	150,000	旅 行 会	旅 行 会	750,000
	旅行会	750,000	忘 年 会	忘 年 会	250,000
	忘年会	250,000	会 員 会	会 員 会	30,000
会 員 費 収 入	役員会	30,000	常 任 幹 事 会	常 任 幹 事 会	180,000
	常任幹事会	180,000	幹 事 会	幹 事 会	100,000
	幹事会	100,000	増 強 活 動	増 強 活 動	100,000
	増強活動	20,000	中央大学補助	中央大学補助	50,000
中央大学補助	中大活動補助金	50,000	ブロック支援	地域活動7×3万	210,000
中大訪問	参加者振出	75,000	事務用品費	各種活動交換	50,000
寄付収入	春宴・他	50,000	同好会補助	パソコン・カラオケ	40,000
諸活動振出	会報発送券	30,000	経費補助費	会費・募金事務	100,000
受 取 利 息	積 金	0	会 員 ・ 交 迎 団 体	会 員 ・ 交 迎 団 体	100,000
税 収 入	0	0	会 場 借 用 ・ 付 帯 費	会 場 借 用 ・ 付 帯 費	100,000
			会 報 作 成 費	年 2 回 発 行	400,000
			印刷費	各種案内	100,000
			事務用品費	用紙・インク等	20,000
			運賃費	履服料	150,000
			ネット回線費	カーブドメイン維持	50,000
			中大訪問費	ホームカミングデー関係	100,000
			支払手数料	会費振込・他	20,000
			税 費		5,000
収入計		3,710,000	支出計		4,825,000
前年繰越金		1,571,522	予 備 費		655,522
合 計		5,281,522	合 計		5,281,522

# 告知板

## ホームカミングデー参加

本年も昨年と同じように、多摩キャンパスへの送迎バスを用意しました。

日時 10月27日(日)

会場 中大多摩キャンパス

交通 日帰り送迎の専用ミニバスを用意しました。乗車は

高島平駅前・ときわ台駅前・区役所前の3か所。

人数 先着24人(参加申込制)

費用 全費用から、大学からの補助金を差し引き、残りを参加人数で割ります。

(当日徴収)

申込先 池田亘利 宛て



▲当支部のブース(2012年)

(詳しくは、別紙の案内状をご覧ください)

## 秋の旅

昨年は、東日本大震災被災地の東北地方を、励ましの意味を込めて旅行しました。

本年は、バスの行程を短くし、近くで美味しい魚を食べながら、ゆつくりくつろいでいただくことと西伊豆戸田温泉を選びました。

日時 11月9日(土) 10日(日)

宿泊 伊豆のかくれ宿

御宿きむらや「つわぶき亭」

静岡県沼津市戸田

人数 30人(参加申込制)

費用 3万5千円(参加人数により若干異なります)

(当日徴収)

申込先 川崎力男 宛て



▲御宿きむらや「つわぶき亭」

(詳しくは、別紙の案内状をご覧ください) (川崎力男)

## 忘年会

担当の赤塚ブロックより案内状を差し上げます。

## 新年会

日時 平成26年1月25日(土)

会場 区立文化会館

受付 17時30分

開始 18時

(詳細については、後日、別途案内いたします)

## 来年の観桜会

来年、担当の高島平ブロックより案内状を差し上げます。

## ■新入会員(敬称略)

○北川 均(昭和42年・商卒)

自宅 板橋区仲宿

ブロック 板橋

○関 正雄(昭和43年・法卒)

自宅 新座市野火止

ブロック 区外

○秋山健司(昭和51年・法卒)

自宅 中野区白鷺

趣味 釣り

ブロック 区外

○三浦祐樹(平成14年・文卒)

自宅 板橋区向原

趣味 時代劇鑑賞

芸名 春風亭朝也(落語家)  
ブロック 大山・大谷口

当支部へようこそ、ご入会を歓迎いたします。

\*\*\*

## ■訃報

▼芳賀茂雄氏(昭和44年・経(平成24年2月 逝去)

▼田中義了氏(昭和41年・法(平成24年7月6日 逝去)

▼清水治男氏(昭和18年・法(平成25年3月21日 逝去)

▼依田敬一郎氏(昭和24年・法(平成25年6月3日 逝去)

▼渡辺勝利氏(昭和38年・法(平成25年7月3日 逝去)

謹んでお悔やみ申し上げます。(事務局 大野正浩)

## ■会費を納入しましょう

当支部は、支部員の納める会費により、運営されています。

今年度の会費をまだ納めていない方は、同封の納付書に依り納入くださるようお願いいたします。

年会費は、3千円です。

(会計幹事 小宮 仁)

● ツアースケッチ

潮来の“あやめ祭り”に遊ぶ



■ 商業色の強い祭会場

六月某日、梅雨期の真只中に潮来(茨城県)の“あやめ祭り”にバスツアーで出かけた。

梅雨とあやめの取り合わせがいかにも詠えたようで、まるで天候は気にかけて出発した。

東京から八〇キロメートル余りの距離を途中一度だけ休憩をとって、目的地の「前川あやめ園」に着いた時は降雨寸前で、急ぎ足で畦道を回ったが、遅咲きのアヤメは色とりどりに美しく咲き誇っていた。

花は一見華やかだったが、園内の散歩道や観覧橋は映画のセットを思わせる造りで風情に乏しく、昇降の多いことに高齢者や小さい子供さん連れの家族には、不評を買ってははいまいかと心配になったことと、期間限定とは言えイベントの一つである「嫁入り舟」は、

いかにもCM色が濃く、心から祝福しかねるものだった。

少しばかり不満を残して、県境を越えたすぐ近くにある「水郷佐原水生植物園」に向かった。



▲ サッパ舟と女船頭さん

私有地を囲ったような大きな池に色とりどりのアヤメや蓮の花が浮かんでいて何隻かのサッパ舟がフル回転でツアー客を乗せて池中を周遊する仕組みだ。

売りはカスリの着物にもんぺ姿の女船頭さんのガイドで水面近い目線から見上げるアヤメは、一段

と大きく美しい眺めであった。  
——これが“あやめ祭り”と納得したものだった。

■ 情緒漂う佐原の散策

あやめ祭りの会場を後にして、“下総の小江戸”と言われる佐原の町に立ち寄った。

佐原は近年、香取市と名称を改めたが、江戸時代から水運業で栄えた小野川沿いに古い建物が多く江戸・明治・大正・昭和期の町家土蔵レンガ造りなどの情緒漂う町並みは、関東で初めて国の「重要伝統的建造物保存地区」に指定されている。

町中の一角に地酒の蔵元の工場があり、休憩を兼ねて工場を見学することができた。

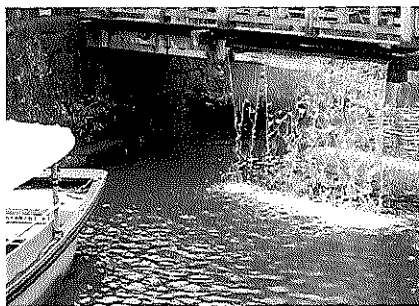
酒造業にとつてこの時期は、シーズンオフで、見所は何もなかったが、案内人が自慢がてら品評会で十年余り連続して金賞を受賞したという自社商品名だけが妙に脳裏をかすめた。

昼過ぎから降り始めた雨は、途切れることがなく、足元を悪くし

ていたが、暗がりのような酒蔵から逃げ出るように町中に出て、小野川沿いを散策した。

江戸時代後期の地理学者・測量家として有名な伊能忠敬(一七四五—一八一八)が住んでいた旧宅をめざしたが、生憎改修中で見学は叶わなかった。

しかし、伊能家旧宅前を流れる小野川に架かる「ザアザア橋」が、間欠泉のように一定時間を経る毎に噴き出す水がザアザアと勢いよく流れる様は、一服の清涼剤でもあった。



▲ 小野川に架かる「ザアザア橋」

降りしきる雨は、全く止む気配はなく、小野川の水量も心なしか増水し勢いを増しているようだった。(文・写真とも 平山惟美)

### 大和町

大和町は昭和三十一年四月一日に出きました。それまではどんな町名にするかで永い間対立がありました。

元々この地に住んでいた人達は、昔からある豊島郡板橋宿根村に対する思い入れがあり根村を主張しておりましたし、新しく移住してきた人々は、昔の名にはとらわれ

ない町名を希望しました。後によりやく妥協し、大和町が採用されました。

## 地名の由来…③②

### 「大和町」の巻



▲智清寺境内

を大和町交差点と呼びますが、こ  
こは車の排ガスによる大気汚染が  
ひどく、全国一空気の悪い所とい  
われておりました。

しかし第一観銀のビルが取り壊  
され、その後何も建てなくて通気  
を良くしたら、今はそれ程ではな  
くなったようです。

### 二つのお寺

環七通りの南側愛染め通りまで

下り坂になり、坂の下に二つの寺  
院があります。

一つは龍光山智清寺です。この

寺の門の所に石橋の石柱がありま  
す。これは大正年間まで板橋宿を

はじめ上十條村の灌漑水路であっ  
た中用水に架けられた遺構です。

中用水は石神井川から取水した  
用水で、下板橋宿根村に堰場が築  
かれておりました。根村堰から分

環七通りと中山道の交わった所

水された用水は、下板橋、十條、  
稲村等七か村の田を潤し「上郷七  
か村用水」と呼ばれていました。

根村堰の修繕が発端となり、中  
用水を利用する村々と、下流の王  
子堰から分水する下用水を利用す  
る村々の対立が一触即発の事態と  
なり、板橋宿の農民総出で智清寺  
に立てこもり、殺気立った十五日  
間を過ごしました。その後、東京  
府の裁決があり、血を見ることな  
く解決したということです。明治  
五年のことだそうです。

本堂の横に赤い旗がはためいて、  
そこに藤吉稲荷が祀られています。  
豊臣秀吉公が木下藤吉郎といっ  
ていた頃、この尊神を崇拜し出し  
たというものを一六一七年大阪落  
城に際し、高松半平という者が法  
誉上人に託したものだということ  
です。墓地にはお寺に寄留して板  
橋を開拓した小松了従、また明治  
の歌人であった相沢朮（おけら）  
の墓があります。

もう一つが、光明山日曜寺です。  
この寺は、本尊が愛染明王である  
ことから、愛が藍に変わって染物  
業者の信仰の篤い寺でした。

(文・写真とも 中三川幸孝)

### \* 編集後記 \*



●今年の夏も猛暑が続いて、原稿  
のメ切日が8月10日だったから、  
暑さはピークだったはず。中でも  
足で稼がないと取材にならないテ  
ーマもあり、本当にご苦労さまで  
した。考えてみれば、編集スタッ  
フ一同年々高齢化が進み、只今長  
期病欠者を出し、少数精鋭？で頑  
張っている。

頑張りと言えば、世界陸上選手  
権最終日に、男子400メートルリ  
ーで飯塚翔太君がアンカーで堂々  
6位入賞を果した。

(編集長・平山惟美)

●本年6月22日の定時総会後、支  
部創立25周年記念式典と祝賀会  
が開かれました。

その時の様子はスペースの関係  
で、この秋季号では割愛しました  
が、今秋に「臨時増刊号」を発行  
し、そこでお伝えいたします。

節目の25周年記念にふさわし  
い記事をはじめ、グラビアのペー  
ジも入れて、当日写した写真など  
を掲載する予定です。

(編集委員・伊藤 潤)